

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名		設置認可年月日	校 長 名		所 在 地	
読売理工医療福祉専門学校		昭和51年6月1日	渡 邊 敏 章		〒108-0014 東京都港区芝 5-26-16 (電話) 03-3455-0221	
設 置 者 名		設立認可年月日	代 表 者 名		所 在 地	
学校法人 読売理工学院		昭和45年1月31日	千 葉 康 文		〒108-0014 東京都港区芝 5-26-16 (電話) 03-3455-0221	
目 的	厚生労働省が指定する科目に沿って、医療技術や必修科目を取得し国家試験合格を教育目標とすることに加え、医療従事者としてふさわしい人材を育成することを目的とする。					
課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与	
医療専門課程	臨床工学専攻科 (夜間部)	2年(夜)	81単位	平成19年文部科学大臣告示第21号	—	
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	67単位	0単位	0単位	14単位	0単位	
生徒総定員		生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		40人	5人	24人	29人	
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日		成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 試験、出席、実習レポート課題等の総合評価		
長期休み	■学年始め：4月11日 ■夏 季：8月1日～8月31日 ■冬 季：12月25日～1月7日 ■学 年 末：3月21日～31日		卒業・進級条件	進級：1学年の必修科目を全て修得 卒業：必修科目81単位の修得		
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 電話連絡、個人面談		課外活動	■課外活動の種類 ■サークル活動 (有・無)		
主な就職先	■主な就職先、業界 病院、医療メーカー ■就職率 <sup>*1</sup> 85.7% ■卒業者に占める就職者の割合 <sup>*2</sup> 75% ■その他(任意) (平成27年度卒業者に関する平成28年4月時点の情報)		主な資格・検定	・臨床工学技士国家資格 ・ME1種検定 ・ME2種検定		

中途退学の現状	<p>■中途退学者 4名 ■中退率 10.3%</p> <p>平成27年4月1日在学者 39名 (平成27年4月入学者を含む) 平成28年3月31日在学者 35名 (平成28年3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由 進路変更 出席不良 成績不良 経済困窮</p> <p>■中退防止のための取組 補習 学生カウンセリング 奨学金の支給等</p>
ホームページ	URL: <a href="http://www.yomiuririkou.ac.jp/">http://www.yomiuririkou.ac.jp/</a>

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除いたものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

## 1. 教育課程の編成

### (教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

臨床工学専攻科は臨床工学技士の養成課程であり、病院での臨床実習が180時間、厚労省より義務付けられている。実習病院としては、大学病院、総合病院などであり、最先端の医療現場での実習を行っている。

また、学内の生体機能代行装置、医療機器関する講義、実習に関しても病院の技士長クラスの臨床工学技士を非常勤講師として招聘し、常に最先端の技術を教育に反映させている。

### (教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年 9月6日現在

名 前	所 属
平井 紀光	日本医療科学大学 保健医療学部 臨床工学科 教授
笹口 友美	学校法人北里研究所 北里大学北里研究所病院 看護部
大田 亜葵子	医療法人社団 昇陽会 阿佐ヶ谷すすき診療所 臨床工学部
加藤 康晴	読売理工医療福祉専門学校 臨床工学系学科 専任教員
菅野 敬祐	読売理工医療福祉専門学校 校長補佐・臨床工学系学科 学科長

### (開催日時)

第1回 平成28年 7月29日 17:00~18:30

## 2. 主な実習・演習等

### (実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業等の人材ニーズを活かしつつ、医療業界の現場で必要となる実践的かつ専門的な能力を育成するため、実習・演習等の授業において、企業等との組織的な連携を通じ、最新の技術動向が反映された技術・技能を教育する。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
臨床実習	臨床工学技士業務について病院で見学を中心に実際的な知識を身に付ける。1. 血液浄化装置実習 2. 集中治療室実習 3. 手術室実習 4. 医療機器管理業務実習	①日本医科大学附属板橋病院 ②東京女子医科大学病院 ③千葉大学医学部附属病院 ④板橋中央総合病院 ⑤大崎病院東京ハートセンター 他 13 病院

## 3. 教員の研修等

### (教員の研修等の基本方針)

日本臨床工学技士教育施設協議会や日本臨床工学技士会等が開催する研修会や、東京都専修学校各種学校協会・東京都私学財団等が開催する研修会に計画的に参加し、実務に関する知識・技術の修得と学生指導力の向上を目指す。また、次年度は企業、病院、大学等から講師を招聘し、校内で教員対象の実務に関する研修会を開催し、最新の知識を得る機会とする。

#### 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年 9月 6日現在

名 前	所 属
渡部 俊一	読売理工専校友会 副会長
植田 三喜男	臨床工学科学学生保護者
湯浅 孝雄	慶応仲通り商店会 会長
羽場 宏祐	(株)インターナショナルクリエイティブ 特別顧問
鹿毛 信一	河端建設(株) 工事部部长
武田 知明	東邦電計(株) 営業部部长
笹口 友美	北里大学北里研究所病院 看護部 看護師
大庭 尚子	港区立特別養護老人ホーム港南の郷 保健課長

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL : <http://www.yomiuririkou.ac.jp/about/>

#### 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL : <http://www.yomiuririkou.ac.jp/about/>

授業科目等の概要

（医療専門課程 臨床工学専攻科：夜間部）平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			公衆衛生学	健康の保持、予防医学の重要性を認識させ、公衆衛生の分野について学ぶ。疾病、人工動態、生活環境、公害、食品衛生、社会福祉と社会保障など。	2前	30	1	○		
○			医学概論	医学の歴史的変遷、医療機器の歴史的変遷、将来の展望および、医療従事者の倫理などについて学習する。	1前	15	1	○		
○			臨床生理学	酸塩基平衡や呼吸機能、心電図など生理学を理解し、疾病や生理機能の関連および検査方法について学習する。	2前	30	1	○		
○			臨床生化学	個体および細胞の化学的構成成分およびそれらの構成成分が示す化学反応と代謝機序、また生化学の疾病との関連について学習する。	1後	40	2	○		
○			臨床免疫学	人体の免疫血清学および各種免疫の概要、輸血検査などについて学習する。	2後	30	1	○		
○			臨床薬理学	臨床で使用される薬剤の作用機序、適応などを中心に学習する。 1. 呼吸器系薬剤 2. 循環器系薬剤 3. 利尿剤 4. 脳神経系薬剤 5. 抗生剤	2前	30	1	○		
○			看護学	患者に接するにあたり要求される基本的態度や考え方を学ぶ。 1. 看護の本質と基礎 2. 患者への対応 3. 患者の心理	2前	30	1	○		△
○			解剖生理学	臨床工学技士に必要な細胞、組織、器官系の知識を通し、人体の構造および機能を学ぶ。	1通	80	4	○		
○			病理学概論	病理学の概要、代謝障害、循環障害、炎症、新生物などの病理学像および細胞検査や血液学的検査などを学ぶ。	1後	30	1	○		

○		基礎医学 実習	人の構造および機能、病理学で学ぶ細胞などについて実習を行うことにより構造的、機能的、形態的に理解を深める。	1 後	30	1			○
○		応用数学	臨床工学に必要な数学の基礎について学ぶ。代数学、微分積分学、微分方程式、フーリエ級数とフーリエ変換、確率統計学、その他。	2 通	60	3	○	△	
○		電気工学	臨床工学に必要な電気工学の基礎について学習する。1. 電荷と磁界 2. 導体と電流 3. 電流と磁界 4. 電磁誘導 5. 直流回路 6. 交流回路 7. 過渡現象	1 通	80	4	○	△	
○		電気工学 実習	臨床工学に必要な電気工学についてその理解を深めるために実習を行う。	1 後	30	1			○
○		電子工学	臨床工学に必要な電子工学の基礎について学習する。 1. 臨床工学と電子工学 2. 電子回路と通信	1 通	80	4	○	△	
○		電子工学 実習	臨床工学に必要な電子工学の基礎についてその理解を深める為に実習を行う。1. 電子回路と通信 2. 増幅 3. アナログ回路 4. デジタル回路と電子計算機 5. 通信	1 後	30	1			○
○		機械工学	臨床工学に必要な機械工学の基礎について学習する。1. 機械力学 2. 生体の運動 3. 流体の法則 4. 振動と超音波 5. 熱力学と機械	2 前	40	2	○		
○		放射線工学 概論	放射線の基本知識から生体への影響、医学や医療への応用や安全管理、その他について学習する。	2 前	30	1	○		
○		システム 工学	臨床工学に必要なシステム理論、信号理論、制御理論の基礎について学習する。1. インパルス応答と伝達関数 2. スペクトル 3. 雑音 4. 相関関数 5. フィードバック	2 後	30	2	○		
○		情報処理 工学Ⅰ	臨床工学に必要な情報処理工学の基礎について学習する。1. 臨床工学と情報処理工学 2. 情報処理工学理論	1 前	15	1	○		
○		情報処理 工学Ⅱ	臨床工学に必要な情報処理工学の基礎について学習する。1. 計算機の原理 2. 計算機のソフトウェア 3. 数値計算アルゴリズム 4. デジタル信号処理	1 通	45	3	○	△	
○		システム・ 情報処理 実習	実習を通してシステム工学および情報処理工学の理解を深める。1. 波形とスペクトル 2. システム応答のシミュレーション 3. フィードバック制御 4. プログラミング	2 後	30	1			○

○			医用機器学 概論	医用機器の全体像を把握し、臨床医療における医用機器の役割について学習する。1. 医療機器と関連技術 2. 医用機器の人体への適用 3. 医療機器などの構成と原理	1 前	60	2	○		
○			医用治療 機器学	医用機器の適切な操作と保守ができるよう、医用治療機器の基本事項を理解する。1. 電氣的治療機器の原理・構造・操作・保守 2. 手術用機器の原理や構造など。	1 前	60	2	○		
○			医用治療 機器学実習	医用機器の適切な操作と保守ができるよう、医用治療機器の基本事項を実習する。1. 電氣的治療機器の原理・構造・操作・保守 2. 手術用機器の原理や構造など。	1 後	30	1			○
○			生体計測 装置学	生体計測装置の適切な操作と保守ができるようその基本事項について学ぶ。1. 生体計測の基礎 2. 循環器系計測器の構成と原理 3. 呼吸器系計測器の構成と原理	1 後	60	2	○		
○			生体計測 装置学実習	生体計測装置の適切な操作と保守ができるようその基本事項について実習する。1. 生体計測の基礎 2. 循環器系計測器の構成と原理 3. 呼吸器系計測器の構成と原理	1 後	30	1			○
○			生体機能代 行技術学	呼吸・循環・代謝に関係ある生体機能代行装置の適切な操作と保守点検ができるように基本的知識と技術について学習する。	1 通	180	9	○		
○			生体機能 代行技術学 実習	呼吸・循環・代謝に関係ある生体機能代行装置の適切な操作と保守点検ができるように基本的知識と技術について実習を行う。	2 前	90	3			○
○			医用工学 概論	医用工学の歴史と学問領域、医用工学・臨床工学の将来像の医用工学全体について体系的に教授する。	1 前	30	1	○		
○			物性工学	工学的な観点から生体の特性について学ぶ。1. 臨床工学と生体物性 2. 生体の構造と特性 3. 電気特性 4. 電気安全 5. 生体の変形と流動 6. 振動や超音波特性	2 前	40	2	○		
○			材料工学	生体特性と人工材料について学ぶ。1. 材料工学と生体 2. 臨床工学と材料工学 3. 人工材料の生体適合性 4. 金属材料 5. 高分子材料	2 前	40	2	○		
○			計測工学	生体計測装置を理解することを基本とし、各種測定器の原理と測定法や各種生体物理量の計測、生体化学量の計測、画像計測などを学ぶ。	1 前	40	2	○		
○			医用機器 安全管理学	医用機器の臨床応用を高い安全性及び信頼性を得て行えるよう、安全管理に関する基本事項について学習する。	1 前	60	2	○		

○		医用機器 安全管理学 実習	医用機器の臨床応用を高い安全性及び信頼性を得て行えるよう、安全管理に関する基礎事項について実習を行う。	1 後	30	1			○
○		関係法規	臨床工学技士として必要な法令について学習する。1. 医事法 2. 臨床工学技士法 3. 関連法規 4. 医療過誤 5. その他	2 前	30	2	○		
○		内科学	臨床工学技士業務に必要な臨床医学的知識（内科学）について幅広く学習する。	1 通	60	2	○		
○		外科学	臨床工学技士業務に必要な臨床医学的知識（外科学）について幅広く学習する。	2 前	60	2	○		
○		救急救命 医学	臨床工学技士業務に必要な臨床医学的知識（救急救命医学）について幅広く学習する。	2 前	60	2	○		
○		臨床実習	臨床工学技士業務について病院で見学を中心に実際的な知識を身に付ける。1. 血液浄化装置実習 2. 集中治療室実習 3. 手術室実習 4. 医療機器管理業務実習	2 後	180	4			○
○		臨床工学 特別講義	臨床工学における現状や問題点などについて考える。	2 通	60	2	○		
合計					40科目		2015単位時間（81単位）		